

地域医療連携推進法人尾三会の運営状況について

1 地域医療連携推進法人について

(1) 制度の概要

地域医療連携推進法人とは、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定（医療連携推進認定）する制度
 (2017(H29)年4月創設)

(2) 認定状況

- 愛知県の認定状況 1法人 (全国 34法人 2023(R5).4.1現在)
- ・名称：地域医療連携推進法人尾三会
- ・認定日：2017(H29).4.2 ※
- ・主たる事務所所在地：豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98 (藤田医科大学病院内)
- ・医療連携推進方針 (資料8-2～8-3)

※業務を行う医療連携推進区域が複数の地域医療構想区域(7区域)にわたることから、2017(H29)年3月の医療体制部会にて決議された2点の付帯事項を附して認可した。

平成29年3月29日愛知県医療審議会医療体制部会における
 地域医療連携推進法人の認定及び代表理事の選定の認可に対する付帯決議文

地域医療連携推進法人が業務を行う医療連携推進区域は、地域医療構想区域と整合的になるよう定めることが原則であり、2以上の構想区域にわたる医療連携推進区域を定める場合にはその理由と必要性について十分精査することが必要であると規定されている。

今回の認定審査対象法人は愛知県下の7つの構想区域に及ぶものであるが、平成29年3月29日の医療体制部会での質疑応答は、この点で各委員の疑念を払拭するに至っていない。

地域医療構想の本来趣旨に基づけば、多数の構想区域にまたがって業務を行おうとする今回の認可審査対象法人の存在は、各構想区域における自主的な取り組みを阻害し、参加法人とそれ以外の機関との無用な競争を助長することが強く懸念される。

愛知県の地域医療構想達成のため、不断の努力を続けている各地域の医療関係者の努力が毀損されることのないように、万全の配慮がなされるべきである。

今回申請された地域医療連携推進法人は、以下の二点を付帯決議事項として認可するものである。

- 1 本法人はその参加法人と業務範囲が多数の構想区域にまたがる地域医療連携推進法人であるため、その法人の事業運営にあたっては、それぞれの構想区域の医療関係者が、地域医療達成に向けて現在すでに行いつつあり、将来行うとしている取り組み内容を十分に理解し尊重すること。
- 2 法人運営がその理念通り適切に運営されている状況について、愛知県医療審議会医療体制部会に、毎年報告すること。

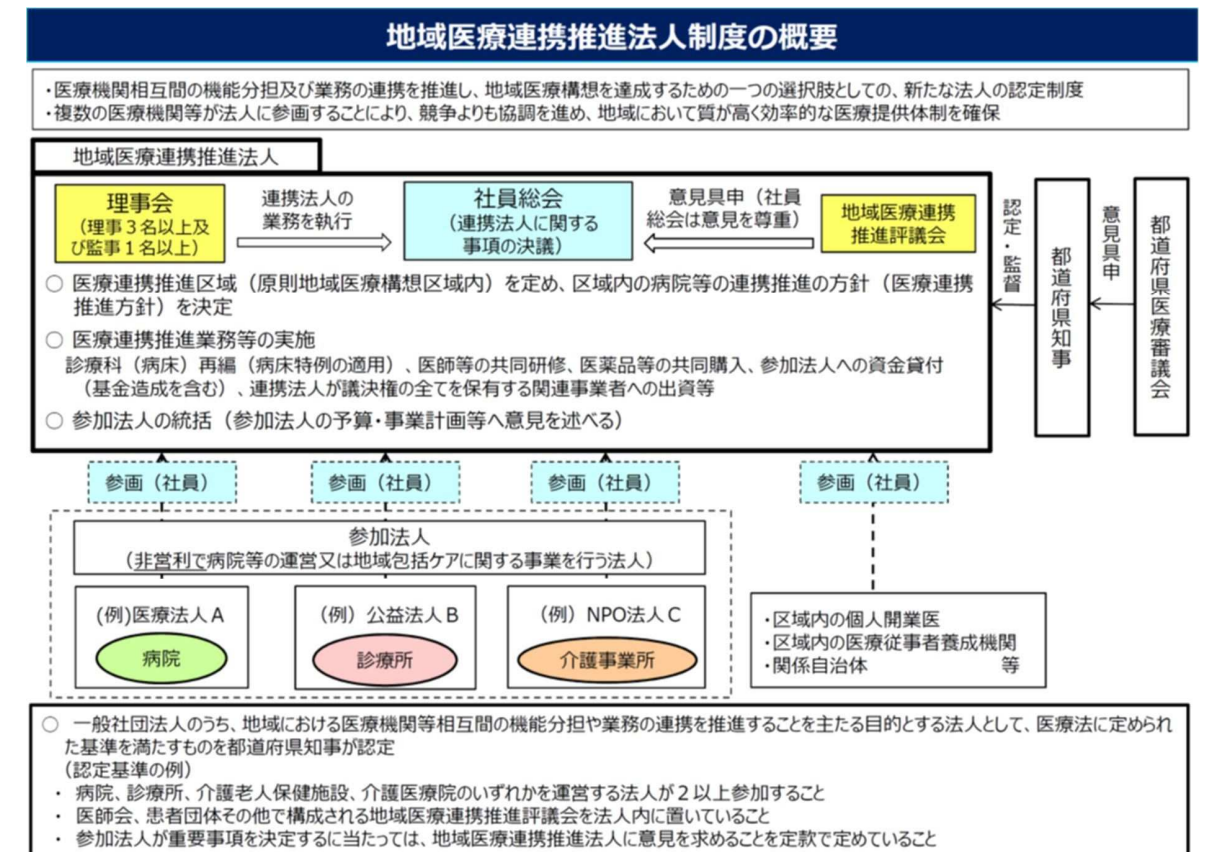
2 運営状況の概要 (令和4年度)

(1) 医療連携推進区域：名古屋市(南区、緑区、天白区)、岡崎市、半田市、豊川市、刈谷市、豊田市始め14市町(地域医療構想区域7区域)
 (前年度と変更なし)

(2) 参加法人、参加病院等：33施設(前年度比+1法人)
 追加法人 社会福祉法人観寿々会
 特別養護老人ホーム洲原ほ一む(刈谷市)

(3) 地域医療連携業務に係る取組状況：資料8-4～8-6

(参考) 厚生労働省 WEB ページより抜粋



医療連携推進方針

1. 医療連携推進区域

愛知県名古屋市南区、名古屋市緑区、名古屋市天白区、岡崎市、半田市、豊川市、刈谷市、豊田市、西尾市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、愛知郡東郷町

2. 参加法人、参加病院等

- ・南医療生活協同組合 総合病院南生協病院
- ・医療法人清水会 相生山病院
- ・医療法人なるみ会 第一なるみ病院
- ・医療法人コジマ会 ジャパン藤脳クリニック
- ・医療法人 みどり訪問クリニック
- ・医療法人並木会 並木病院
- ・医療法人鉄友会 宇野病院
- ・医療法人十全会 三嶋内科病院
- ・医療法人木南舎 富田病院
- ・医療法人葵 葵セントラル病院
- ・医療法人宝美会 総合青山病院
- ・医療法人明和会 辻村外科病院
- ・医療法人社団同仁会 一里山・今井病院
- ・公益財団法人 豊田地域医療センター
- ・医療法人贈恩会 小嶋病院
- ・医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック
- ・医療法人 秋田病院
- ・学校法人藤田学園 藤田医科大学病院
- ・社会福祉法人あかいけ寿老会 特別養護老人ホーム寿老苑
- ・医療法人名翔会 老人保健施設和合の里
- ・社会福祉法人東郷福祉会 特別養護老人ホームイースト・ヴィレッジ
- ・社会福祉法人福田会 特別養護老人ホーム豊明苑
- ・医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院
- ・医療法人社団福祉会 高須病院
- ・医療法人秀麗会 山尾病院
- ・医療法人幸寿会 平岩病院
- ・社会福祉法人地域福祉コミュニティほほえみ 地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ
- ・医療法人寿光会 寿光会中央病院
- ・医療法人大医会 日進おりど病院
- ・医療法人大朋会 岡崎共立病院
- ・医療法人メディライフ 半田中央病院
- ・国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
- ・社会福祉法人観寿々会 特別養護老人ホーム洲原ほ一む

3. 理念・運営方針

(理念)

尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。

(運営方針)

尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じ、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。

- ① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。
- ② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。
- ③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

・グループ内施設の機能の分化について

特定機能病院である藤田医科大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。

・グループ内施設間における医療・介護従事者等の人事交流を実施し、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて人事交流を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。

・医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、藤田医科大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田医科大学包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの研修会や研修業務の企画立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣をすることで、地域全体での医療・介護サービ

スの質の向上に貢献します。

さらに、地域の潜在看護師が自信を持っていきいきと働くための支援として、医療安全を基盤とした看護技術習得を目指した再教育及び就労支援を実施することにより、地域医療に貢献していきます。

- ・グループ内施設間での患者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、高度急性期医療を担う藤田医科大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的に、より効率的に情報システムを利用するための方法等について検討します。

- ・グループ内施設に対して医療事故調査等に関する業務の連携を実施し、安全な地域医療の実現に貢献します。

具体的には、医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田医科大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断(Ai)等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。

- ・医薬品の一括交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、平成29年10月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラリーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。

- ・医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営の効率化の実現に寄与します。

- ・グループ内施設における給食サービスの共同化を実施し、適切な配食と経営の効率化を図ります。

具体的には、藤田医科大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

- ・先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供します。

具体的には、既に豊明市において藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。

- ・「暮らし」を支える在宅診療のシステム化に貢献いたします。

具体的には、前述の藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた24時間365日オンコール体制によるバックアップ、24時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。

- ・介護・医療従事者等の人事交流を通じて、在宅診療等の充実に貢献いたします。

具体的には、各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への人事交流を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。

- ・グループ内施設間での患者・利用者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。

(記載上の注意事項)

- 「2」については、参加法人、参加病院等及び参加介護施設等の名称を記載すること。
- 「4」については、地域医療構想の達成の観点から参加病院等が実施する機能分担及び業務連携について記載すること。
- 「5」については、医療法第70条の2第4項に基づき、参加病院等及び参加介護施設等の相互間で業務連携を実施する場合に記載すること。

医療連携推進業務に係る取組の状況

(理念)
尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。

(運営方針)
尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じて、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。

- ① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。
- ② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。
- ③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。

(令和5年3月31日現在)

	事項	医療連携推進方針における記載内容	活動状況等	補足説明
病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標	・ グループ内施設の機能分化	特定機能病院である藤田医科大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。	空床情報の共有をクラウド上で実施し、12施設が登録した。転院受け入れに伴う情報（要件）を可視化するため、受け入れ基準一覧表を作成した。転院先で患者家族に行われるオリエンテーション動画を4施設が制作し、転院日までの日数短縮及び職員の業務軽減につながった。 尾三会参加病院の診療機能データをシステム化及び標準化し、ホームページにて公開している。退院調整の質と効率化の向上、継続且つ横展開可能な、シームレスな医療の提供を目指して、事業を推進していく。	空床情報共有 ・南生協病院 ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・並木病院 ・辻村外科病院 ・平岩病院 ・小嶋病院 ・日進おりど病院 ・高須病院 ・富田病院 ・三嶋内科病院 ・藤田医科大学病院 動画制作 ・相生山病院 ・並木病院 ・辻村外科病院 ・日進おりど病院
	・ グループ内施設間における医療・介護従事者等の人事交流を実施し、回復期機能や在宅医療を充実	特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて人事交流を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。	人事交流について藤田医科大学病院と調整し、特に必要性の高い地域の施設に対し、医師の人事交流を3件行った。業務改善・整理・効率化のために薬剤師の人事交流を行った。	医師派遣施設 ・豊田地域医療センター ・日進おりど病院 ・総合青山病院 人事交流参加施設 ・第一なるみ病院 ・藤田医科大学病院
	・ 医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療を充実	藤田医科大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田医科大学地域包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの研修会や研修業務の企画立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣することで、地域全体での医療・介護サービスの質の向上に貢献します。 さらに、地域の潜在看護師が自信を持っていきいきと働くための支援として、医療安全を基盤とした看護技術習得を目指した再教育及び就労支援を実施することにより、地域医療に貢献していきます。	藤田医科大学等で開催されたセミナー（WEBを含む）や尾三会後援の研修会等の案内を全施設にした。 参加施設より講師派遣の依頼が10件あり、今年度は藤田医科大学病院のほか、総合病院南生協病院、並木病院の看護師が講師としてWEB及び訪問にて講演を行った。WEBでの講演については、事業に参加した講演先施設限定で、見直し等再教育の活用のため、録画データを配布している。 看護連携強化のための看護管理者会議を開催した。日本看護協会から「地域における看護の継続と質向上に向けた実証事業」を委託され、課題抽出、検討、取組（実施）、報告のため、今年度は合計6回の開催となった。 医薬品のフォーミュラリーセミナー（WEB）を2回開催した。薬剤部門の情報共有や連携強化、またスキルアップを目的に、尾三会参加施設における薬剤師会ミーティングを立ち上げ、ミーティングを2回開催した。今後、月1回程度の定例開催を予定している。 e-learningを活用した医療の質向上のため、「学びばクラウドサービス」を導入し、12施設が利用した。尾三会学びばこの利用規約を制定した。 有料職業紹介事業は、看護師について2名の紹介が成立した。また、職業紹介事業許可期限が令和5年3月末のため、令和4年11月に更新手続きを行った。	講師依頼施設 ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・辻村外科病院 ・日進おりど病院 講師派遣施設 ・藤田医科大学病院 ・南生協病院 ・並木病院 フォーミュラリーWEBセミナー、尾三会薬剤師会ミーティング参加施設 ・南生協病院 ・相生山病院 ・並木病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院 ・日進おりど病院 ・藤田医科大学病院 ・善常会リハビリテーション病院 ・寿光会中央病院 ・第一なるみ病院 ・三嶋内科病院 ・山尾病院 ・高須病院 ・豊田地域医療センター ・総合青山病院 ・国立長寿医療研究センター 尾三会学びばご利用施設 ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・みどり訪問クリニック ・並木病院 ・宇野病院 ・富田病院 ・三嶋内科病院 ・総合青山病院 ・辻村外科病院 ・一里山・今井病院 ・小嶋病院 ・寿光会中央病院 看護師紹介施設 ・並木病院 ・辻村外科病院
	・ グループ内施設間での患者情報の共有化モデルの確立	高度急性期医療を担う藤田医科大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的により効率的に情報システムを利用するための方法等について検討します。	インターネットを通じ診療情報を参照するシステムである「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を参加施設に促し、申し込みを取りまとめている。現在、16施設がシステムの設置・設定を済ませている。タブレット端末の貸し出しを藤田医科大学病院に協力いただき、IDリンクの利用促進を働きかけている。 ID-Linkのワーキングへ尾三会として参加し、参加施設の意見を報告している。	ID-Link 設定済施設 ・ジャパン藤脳クリニック ・みどり訪問クリニック ・並木病院 ・富田病院 ・葵セントラル病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院 ・一里山・今井病院 ・山尾病院 ・総合青山病院 ・宇野病院 ・秋田病院 ・相生山病院 ・日進おりど病院 ・三島内科病院 ・前原整形外科リハビリテーションクリニック

病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標	<ul style="list-style-type: none"> 医療事故調査等に関する業務の連携 	<p>医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田医科大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断（Ai）等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。</p>	<p>医療事故に関する 24 時間 365 日対応や医療安全および院内感染に関する教育・相談、施設内医療事故調査委員会の設置運営への協力など、医療事故に対する支援体制を整えるため、参加施設は「藤田あんしんネットワーク」へ加入していただく。尾三会が窓口となり、全参加施設が入会を済ませている。あんしんネットワークの幹事会及び総会へ参加し、参加施設の意見を報告している。</p> <p>参加施設より、COVID-19 の対応についての指導者の派遣要請があり、藤田医科大学病院の ICT へ対応をお願いした。</p>	<p>医師・看護師派遣施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 並木病院 辻村外科病院
	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の一括交渉を通じたグループ内施設の経営効率化 	<p>平成 29 年 10 月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。</p>	<p>現在、12 施設が事業に参加している。</p> <p>フォーミュラーに関しては、共同研修としてセミナーを開催した。今後は、尾三会薬剤師会ミーティングにおいて、検討していく。</p>	<p>医薬品事業参加施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 相生山病院 第一なるみ病院 ジャパン藤脳クリニック 三島内科病院 葵セントラル病院 豊田地域医療センター 前原整形外科リハビリテーションクリニック 平岩病院 高須病院 山尾病院 辻村外科病院 小嶋病院
	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じたグループ内施設の経営効率化 	<p>グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営の効率化の実現に寄与します。</p>	<p>患者の医療安全及び職員の負担軽減、また経営改善のため、メーカーと価格交渉後特別価格の提案を全施設へ案内した。当該メーカーと紹介に関する契約を締結し、5 施設 10 台の契約があった。</p> <p>カーリース事業については、6 施設 19 台の登録があった。カーリース事業契約社からのお知らせについて参加施設へ案内した。</p>	<p>とろみ自動調理機（とろみサーバー）設置施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 相生山病院 並木病院 三嶋内科病院 富田病院 寿光会中央病院 <p>カーリース契約施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合青山病院 高須病院 富田病院 豊田地域医療センター 葵セントラル病院 地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設における給食サービスの共同化による適切な配食と経営効率化 	<p>藤田医科大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。</p>	<p>「適時適温の食事提供システム」を導入した場合のコスト計算結果等を参考に、参加施設への提供実現可能性を引き続き検討している。</p>	
介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供 	<p>既に豊明市において藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。</p>	<p>「地域包括ケア中核センター」が運営を担っている、豊明市、東郷町、藤田医科大学の三者により設置された『豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」』を参考に、尾三会の医療連携推進区域において、医療介護専門職種を支援する等の拠点づくりを検討している。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らし」を支える在宅診療のシステム化 	<p>前述の藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた 24 時間 365 日オンコール体制によるバックアップ、24 時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。</p>	<p>尾三会の医療連携推進区域において、「地域包括ケア中核センター」と連携し、藤田医科大学病院より人材を供給するなどのシステム構築を検討している。在宅医の当直体制の充実化を図るため、令和 2 年に在宅当直医師紹介機関との契約を締結した。</p>	<p>事業参加施設</p> <ul style="list-style-type: none"> みどり訪問クリニック 半田中央病院
	<ul style="list-style-type: none"> 介護・医療従事者等の人事交流を通じた在宅診療等の充実 	<p>各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への人事交流を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。</p>	<p>参加法人の介護施設や在宅診療を担う施設に対し、介護・医療従事者の人事交流する仕組み(システム)を構築中である。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設間での患者・利用者情報の電子的な共有モデルの確立 	<p>前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。</p>	<p>前述のとおり「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を全参加施設に促し、システムの設置・設定を順次行っている。</p>	

令和4年度 研修会一覧

日程	研修会、セミナー名	内容、テーマ
2022年4月23日（土）	第9回かけはしキッズ	・豊明市児童発達支援センターの事業案内 ・小児期における訪問診療について
2022年4月25日（月）	第17回かけはし一歩塾	ZOOMを使って担当者会議
2022年5月26日（木）	第6回これでわかる！脳・神経系疾患	そのめまい、帰していいですか？ ー危険なめまいに足をすくわれないためにー
2022年6月4日（土）	多職種同職種会の合同研修会	・各連絡協議会による実績報告 ・訪問による専門職の活用について
2022年7月12日（火）	第18回かけはし一歩塾	地域における言語聴覚士の役割
2022年7月14日（木）	第7回これでわかる！脳・神経系疾患	脳卒中の初期治療のポイントを学ぼう。
2022年8月18日(木)	第1回スピンオフ版！？ 「これでわかる！脳・神経系疾患」	CTの基礎と患者さんを診ながら観る頭部CT
2022年9月1日(木)	第19回かけはし一歩塾	高齢者福祉サービス&日常生活自立支援事業を学ぶ
2022年9月8日(木)	第8回これでわかる！脳・神経系疾患	下垂体の病気を知っておく
2022年9月10日(土)	第1回多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	業務継続計画（BCP）について ～策定義務まであと1年半、準備は進んでいますか～
2022年10月15日(土)	第2回多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	豊明市版 重層的支援体制整備事業とは？
2022年10月20日(木)	第2回スピンオフ版！？ 「これでわかる！脳・神経系疾患」	脳の機能解剖ー脳腫瘍の手術で見える景色
2022年11月11日（金）	消化器がんWEBセミナー(NST勉強会)	消化器がんの集学的治療 ～食道がん栄養管理・手術・薬物療法～
2022年11月14日（月）	第20回かけはし一歩塾	終末期における家族支援
2022年11月17日(木)	第9回これでわかる！脳・神経系疾患	頭痛 急性頭痛の鑑別診断と片頭痛を中心に
2022年12月13日（火）	ここまで進んだ、メラノーマ診療(ノバルティスファーマ(株)尾三会後援)	①皮膚悪性腫瘍の診療について ②日本人に適したメラノーマの治療を考える
2022年12月22日（木）	参腎会学術講演会（協和キリン(株)尾三会後援）	①CKD患者との関わりから腎臓病療養指導士の役割を考える ～管理栄養士の立場から～ ②CKD対策における腎臓病療養指導士の役割と今後の展望
2023年1月19日（木）	第10回これでわかる！脳・神経系疾患	脳出血の初期治療
2023年2月20日（月）	第21回かけはし一歩塾	豊明市における高齢者虐待対応について
2023年3月4日（土）	藤田医科大学病院看護部がん看護スキルアップセミナー	第一部：特別講演「がん治療とリンパ浮腫」 第二部：スキルアップセミナー
2023年3月10日（金）	第4回藤田医科大学病院NST勉強会	CKD患者の栄養管理 up to data 2023